

アコモード

タイムズ

第47号

編集・発行

社会福祉法人 アコモード

- 特別養護老人ホーム アコモード
- アコモード指定居宅介護支援事業所
- アコモードヘルパーステーション
- ティサービスセンター アコモード
- グループホーム アンダンテⅠ・Ⅱ
- ケアホーム アザレアⅠ・Ⅱ
- ケアホーム アヴァンセⅠ・Ⅱ
- ケアホーム アメリアⅠ・Ⅱ
- 特別養護老人ホーム アクワイール
- ティサービスセンター アクワイール
- キッズルーム アクワイール
- キッズルーム アコモード
- アンジェリカ保育園
- 我孫子市老人福祉センターつつじ荘
- 我孫子市布佐・新木地区地域包括支援センター
- 我孫子市我孫子南地区地域包括支援センター
- アコモード相談支援事業所

千葉県我孫子市布佐1559-2
Tel.04(7189)5201・Fax.04(7189)5203

事業継続の誓い

特別養護老人ホームアコモード施設長

海老原 勤

昨年末、隣国である中国において新たな感染症が発生しているとのニュースを対岸の火事のように捉えながらなんとなく観ていました。

その後、「ダイヤモンドプリンセス号」のクラスター感染の際も、早期の終息を祈りつつも、まさかその後に、全世界で感染が広がると思っても及ばませんでした。

今回の新型コロナウイルスの世界的大流行について、新聞やテレビで日々報道が続けられています。「人類の歴史は感染症との闘いの歴史」というフレーズを何度も耳にしましたが、生を受けて五十数年、これほど多くの尊い人命が失われてしまう感染症には、幸い経験することなく過ごしてきました。初めての出来事に恐怖と不安を覚えたものです。

私たちの仕事は、多くの高齢者の皆様や障がいをお持ちの皆様の生活を支援していくことです。私たちの法人では、二百三十八名の高齢者、六十名の障がいをお持ちの方がそれぞれの施設やホームで生活しており

ます。そのほとんどが疾病を抱え、医療や介護を必要とする方々です。

私たちの法人では、行政や各協会などの発する情報や指示に基づき、感染予防対策を徹底して実行してまいりました。施設内消毒、手洗い、マスクの徹底、職員の労働時間外での活動の制限など、いまだ継続中です。そのような中、特別養護老人ホームでは、いち早く「リモート面会」を採用しました。とはいえ、面会制限から一月以上過ぎていましたので、ご家族の皆様、ご入居者の皆様双方に寂しい思いをさせてしまいました。リモート面会開始時には、多くのご家族が相談員に対し心底喜びを告げられたとのことです。いまだつらい状況ではありますが、ちよつとした嬉しい報告でもありました。今後の【新しい生活様式】においては、遠方のご親族やご多忙のご家族様との連絡手段として継続してまいりたいと思っています。

国による最大規模の補正予算により、これまでの経済損失を補てんすべく世の中が動いています。それでも、すべて元通り、なかったことにすることは出来ません。残念ながら、私たち福祉の世界においても事業の縮小や廃業に迫り込まれた法人・事業所もあると伺いました。

幸い、私たちの法人では縮小や廃

業もなく第一の波は乗り越えることができたようです。

今回の新型コロナウイルス感染症の蔓延において、最後の砦ともいえる世界一の医師の皆様はじめ、看護師さん他、医療スタッフの皆様に敬意を表すと共に、深く感謝します。医療従事者の活動は、休日もなく不眠不休の活動であったからこそ多くの人命が救われました。

高齢者介護や障がい者支援もその内容は様々です。とくに私たちが提供する事業は、皆様の生活に直結する介護であり支援です。医療同様に休むことは出来ません。私は常々、「介護に休日なし」という考えに基づき仕事に従事しています。私たちも医療の皆様とは別の形で人々の「生活・命」をお守りしたと思っています。

人類にとって大きな痛手となった今回の新型コロナウイルス感染症の大流行でした。第一波が収束したこの時期に発するのは早い気もしますが、現場職員の日々の努力に心から敬意を表したいと思います。平成八年六月一日、「特別養護老人ホームアコモード」開設の日です。いまだ一日も休むことなく日々介護が続いています。この先も、私たちの行う事業が、今まで同様に継続していくことをお誓いいたします。

特養アコモード



★令和元年六月に施設内で『アコモード祭』を行いました。
我孫子東高校吹奏楽部の演奏で華やかに開幕し、フラダンスの優雅な踊りで癒され、河童太鼓の鳴り響く演奏で、身体の芯まで揺さぶられました。

出店としてお好み焼き、オムレツ、スピン、飲み物を提供しました。

皆さん口々においしいとおっしゃって下さいました。中でもアイスクャンディーの移動販売は好評で、お一人で何個も召し上がる方もいらっしゃいました。

二部構成でしたが演者の方々に熱演していただき、おおいに盛り上がりました。

★八月中旬暑さが増す中、アコモード施設内で少しでも涼んでいただけのようにアイスイベントを実施しました。

男性は「どれでもいいよ」と言う方が多く、女性はいじくりと選ぶ方が多かったです。

アイスを頼張り、「冷たいね」とおっしゃりながら温かい笑顔を見せて下さいました。

皆さん冷たいとはしゃぎながら笑顔でアイスを召し上がっていました。



★十二月正月に飾る風をこ入居者、職員と共に作成しました。

菱形の風干に千支の「子」の字の輪郭を職員が作り、ご入居者に墨で塗って頂きました。今にも高く上がっていきそうな風ができました。

アコモード デイサービス

★夏に入る前に野菜の栽培を開始しました。

植える苗を選んでいただく所から始めました。ゴーヤやナス、きゅうり、トマト、ピーマン、バジルなどを植えました。たくさん野菜を収穫することができました。

★毎年我孫子市で行っている「折鶴を広島へ」に参加させて頂きました。

ご利用者の皆様に折って頂いた、二千羽以上の折鶴を送りました。

★毎年恒例となった幼稚園交流会を行いました。

開いている時間を利用して半年ほど使用して古くなってしまったおしぼりで雑巾を作成しました。お礼として素敵な劇を見せてくださいました。



特養アクイール

★ユニット合同忘年会

十二月八日実施。アクイールのユニット型特養では、一ユニット十名で六ユニット、計六十名様がそれぞれのユニットで過ごされています。各フロアーが離れている為、ユニット間の交流は普段少ない目ですが、年に一度の「合同忘年会」では、ユニットの垣根を越えて、楽しんでいただいています。

また、日頃ボランティアやお洗濯でお世話になっている皆様もお招きし、感謝の気持ちをお伝えしました。

THANK YOU!



★おやつレク「手作りプリン」

アクイール特養の各ユニットでは、ご入居者のご希望に合わせて様々なレクリエーションを実施しています。

三月八日、



七日の二日間にかけて行ったプリン作りでは、一日目にプリン液を作り、型に流し込む作業を、二日目にはでき上がったプリンにフルーツ等をトッピングして美味しくいただきました。生クリームの泡立てや、フルーツのカットも皆で手分けをして行い、和やかな時間を共有することができました。

ができました。

★「いちご狩り」

レクリエーション

三月十二日、イチゴが美味しい時期ですが、今年には外出を控え、特養多床室のフロアー内でイチゴ狩りのレクリエーションを行いました。食事用のカートにイチゴ畑に見立て、参加したご入居者に直接イチゴを摘み取っていただきました。その場で召し上がり、周りには甘酸っぱい香りが。本物のイチゴ狩りのようにはいきませんでしたが、旬のあまーいイチゴを食し、季節を感じていただきました。



★年末感謝祭

感謝祭は一年の締めくくりに行事として、毎年行っております。コンセプトは日頃の感謝を込めて行う行事です。職員による出し物を楽しんで頂いたり、利用者様にも参加頂いて一緒に楽しめる事を企画して行っています。令和元年の感謝祭では、お絵かきリレーや職員による大喜利を行いました。ご家族やボランティアの皆様も招待して感謝を伝えています。



★ビアガーデン

夏の恒例行事で、おいしい料理や、ノンアルコールビールにジュースを味

アクイールデイサービス

わいながら、ボランティアの皆様による歌や踊りを楽しんで頂きました。暑さを忘れるぐらい飲んで食べて、宴の時間を満足そうに過ごされました。感謝祭同様に、ご家族にも楽しんでいただきました。

★おやつバイキング

不定期に行っております。ゼリー、おまんじゅう、カップケーキ等から好きなおやつを二個ずつ選んで頂いています。好きなおやつを自分で選べるので、皆様喜ばれます。

おやつバイキングの他、昼食がシチュー等の日は昼食時にパンバイキングも行いました。



グループホームアンダンテ

★笑いヨガ

地域交流のひとつ

地域イベント「笑いヨガ」に参加しました。いつもは、動かない手・足も軽やかに動き運動レクリエーションにもなりました。また地域の方との会話も弾み、気分転換になりました。

★外食

喫茶店へ行ってきました。

施設内で食べるケーキやコーヒーとは一味違い、ご自分の好きな物なので、食欲も増しました。また、風景も最高！まるで海外にも行った気分になりました。

★おはぎ

毎年恒例のおはぎ作り

昔取った杵柄で口八丁手八丁で次々とおはぎを作り上げていきました。皆さんで作ったおはぎ、味も最高!!



アンジェリカ保育園

★防災の日集会

毎年、九月一日の防災の日に合わせて「防災の日集会」を行っています。紙芝居や絵本を通して災害の怖さや正しい避難方法を確認します。避難スベリ台の体験や、非常食の試食、一斉メールのテスト配信も行い、子どもと一緒に大人も万が一の災害に備えます。



★夕涼み会

毎年、年長組が自分達で造ったお神輿を担ぎ、皆で盆踊りを楽しめます。盆踊りの後は、お店回りをします。子ども達とお家の方とで、くじ引きをしたりゲームをしたりして縁日気分を味わってもらいます。地域のペイントサークルによるフェイスペイントのお店や給食室の焼きとうもろこしのお店も、毎年大盛況です。

★お芋掘り

大型バスにのって「老人福祉センターつつじ荘」の畑へお芋掘りにいきます。毎年、つつじ荘のスタッフや利用者の皆さまに暖かく迎えられ、たくさんのお芋を収穫します。お芋掘りだけでなく、昨年はセンター内を見学の際、カラオケ大会にも参加させていただきました。また、芝生の広場で思い切り遊べることも子ども達の楽しみの一つです。



★クリスマス会

日中はそれぞれの活動場所に通っている皆様なので、なかなか男性棟と女性棟全員が一堂に会する機会がありません。

ですが、季節行事の時は別です。昨年十二月十九日、女性棟にアメリカのご利用者が全員集合してにぎやかなクリスマス会を開くことが出来ました。

職員手作りのサンドイッチやお料理、美味しいいちごのケーキをお腹いっぱい食べました。

その後、職員が扮したサンタクロースからのプレゼントに大喜びして下さいました。

来年のクリスマスプレゼントは、なにがいいかなあ…と、気が早いご利用者も。皆様のご期待に沿えるよう、楽しく生活していただけるように職員一同、アクセル全開で取り組んでまいります。



アザレアでは、季節を感じようという目的として、その季節に合ったイベントを企画しています。

昨年は、十月にハロウィンパーティーを行いました。仮装をして、とても盛り上がりました。今年は、七月に七夕とミニ花火会を予定しています。



広大な庭は芝生になっているため、グランドゴルフを楽しめ、年に三回程度グランドゴルフ大会も実施しております。毎回二十名位の方にご参加頂いており好評です。

その他にも、そば打ちボランティアの方に大広間で打ってもらった、出来立てのおそばの提供や、今高齢

つつじ荘では、不特定多数の方々にご利用になるため、それぞれのニーズに合わせ皆様が、楽しめるような施設づくりを心掛けております。



沢山の方と交流を持ち充実した楽しい生活をつつじ荘で過ごしてみませんか？

者の方に大人気の健康麻雀は希望者数と新規の問い合わせが多く、新たに麻雀卓を二台導入し、全八団体と個人参加の方で毎日稼働しております。運動タイプの機器の導入の依頼なども多かったため、ウォーキングマシンとエアロバイクを新規導入し、運動をする方も増えております。その他季節ごとのイベントやけん玉教室など、毎月実施しております。

障害者 まちかど相談室

障害者まちかど相談室では、地域の皆様のさまざまなご相談に対応しています。最近では、ご両親が長年に亘って、障害があると思われるお子様を家庭内で養育されてきたものの、ご両親の高齢化によりご家庭内だけでは支えきれなくなってしまう……というご相談が多くなってきました。ささやかな心配事をご相談いただくことで、支援が必要な状況になった際には、スムーズに介入させていただきます。ただけた事例もあります。「こんなことで相談してもいいかしら……」と迷われたら、お散歩がてら是非まちかど相談室までお立ち寄りください。

また、この度の特定定額給付金の申請で支援を必要とされる方はお気軽にご相談ください。

高齢者 なんでも相談室

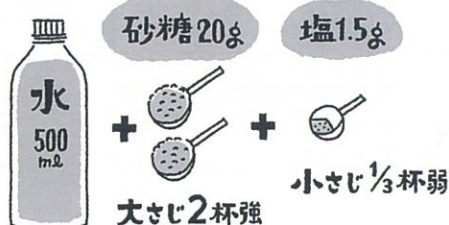
例年、梅雨明け後から約一か月間は熱中症患者数が最も多い時期です。特に今年は、多くの方が春季に外出自粛をし、筋肉量が減り、体に保持できる水分量が減っていること、身体が暑さに慣れていないことから、脱水になりやすい状況です。

さらに、マスクを着けていると体内に熱がこもりやすくなってしまう。マスク内は湿度が高いため喉の渇きを感じづらく、元来喉の渇きを感じづらい高齢者は特に、知らないうちに脱水が進み熱中症になってしまうリスクが高まります。脱水状態だと、ウイルス感染のリスクも上がってしまうことを心し、こまめに水分補給をしましょう。

また、「倦怠感、頭がふらつく、発熱、頭痛」といった熱中症の症状は、新型コロナウイルスの軽度症状にも似ているため、判別が難しい可能性があります。そこで、熱中症になる環境・生活環境を避けておくことが例年以上に大事になります。

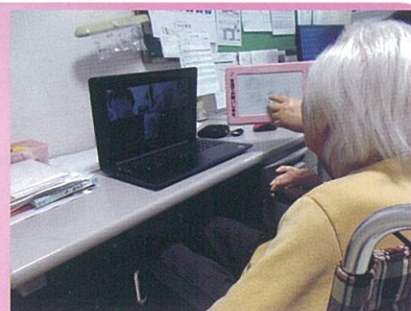
高齢者なんでも相談室には保健師がいますので、体調のことや気になることがある際はご相談ください。

経口補水液の作り方



リモート面会

アコモード、アクイールでは、ご入居者、ご家族の面会制限があるため、リモートでの面会を実施しています。数か月ぶりに画面越しでの面会でしたが、顔が見えた際思わず涙ぐまれていました。



あとがき

介護の仕事をしていると、体調管理には気を使います。冬場は、風邪やインフルエンザが流行するので、何処へ行くにもマスクは欠かせません。

今年保育園を卒園した子供の行事写真を見返してみると、いつも私だけマスクをしていて異様な感じを受けます。子供が風邪をひいている時は、家の中でもマスクをしています。マスクでウイルスを全て防ぐことが出来ませんが、気持ちの上で安心感があります。

また、我が家では、アルコール溶剤配合の手指用消毒剤も常備しているので、今年は大活躍しています。

今は写真撮影を行うと、マスク姿であると思いますが、早くマスクが取れて、口元が写った素敵な笑顔が撮影できるようになって欲しいものです。

前回の編集作業から早いもので一年が経っています。その間、アイスクリーム会やお盆のお供えをした夏があり、秋の敬老会、冬のクリスマス会、「子」の字を描いた風をご利用者と一緒に作ったり、新年のお屠蘇、雛飾りを出したりといういろいろありました。また次の一年、頑張っていきたいと思っています。